

第 8 回すばる小委員会議事録

日時：12月16日（火）午後1時より午後5時(JST)

場所：国立天文台 解析研究棟 TV 会議室（ハワイ観測所、岡山観測所、
京都大学と TV 会議接続）

出席者：青木和光、有本信雄、市川隆、川端弘治、菅井肇、田村元秀、
浜名崇、林正彦、松原英雄、本原顕太郎、山下卓也（以上三鷹）
臼田知史、高遠徳尚、伊藤洋一（ハワイ観測所から TV 会議参加）
吉田道利（岡山観測所から TV 会議参加）
太田耕司（京都大学から TV 会議参加）

ビジター：寺田宏、友野大悟（S-Cam の将来計画の項のみ TV 会議参加）
高見英樹（UM の項のみ TV 会議参加）

書記：吉田千枝

午前 11 時から Gemini の D. Simons 所長、S.Kleinman 氏を招いて懇談した。
午後から通常の SAC 会議。

1 所長報告

1.1 FMOS の見通し

FMOS は S09B からの GT とリスクシェアモードでの共同利用開始を目途に進めてきたが、
開始時期についてはまだ明言できない。

1.2 イギリスとの関係

最初の契約では、FMOS の製作費の 3 割をイギリスが負担し、その見返りとして FMOS 共
同利用時間の 3 割をイギリス側が使うことになっていた。「FMOS 時間の 3 割使用」の解釈
について、我々はイギリス人が PI か CoI であればよいと認識してきたが、今後の交渉で明
確にしていく必要がある。また製作開始時にはなかった「戦略枠」が創設されたので、こ
の点もイギリス側に説明する必要がある。

Q：FMOS 戦略枠提案が採択された場合、提案チームが使用する夜数のすべてをイギリス
の使用分としてカウントしていいのか？

所長：3 割のやり方にはいろいろなオプションが考えられる。例えば、

- a. 戦略枠提案チームに参加するイギリス人研究者の人数を 3 割にする。

b. 100 夜の戦略枠プログラムを 30 夜と 70 夜に分ける。

C. 論文発表数を 7 対 3 に調整する。

等、いろいろ考えられるので、先方とまずざっくばらんに話す必要がある。

また、以前交わした契約書の中身をよく確認したい。

C: 先方は CoI でもいいとは思っていないだろう。戦略枠を考慮に入れなければ個別プログラムの PI の数で 3 割というのが一番シンプルだ。

C: なるべく戦略枠審査に足かせをはめないようにすべきだ。

C: イギリスが FMOS 時間の 3 割を使うという先の契約は PPARC (STFC の前身で日本の学振に相当) と台長の間で締結したもので、守らないわけにはいかない。

所長: 個別プログラムは競争原理なのでイギリス人 PI を 3 割に調整する等はできない。

今後イギリス側と交渉し、SAC にも随時報告する。

2 S-Cam の将来計画について (寺田)

趣旨説明:

観測所としては HSC と S-Cam の両方を運用することが予算・人員上難しいため、移行期間 (併用期間) がどの程度必要か検討を始めた。併用期間は貴重な暗夜を HSC と S-Cam で二分することになる。(資料: HSC チーム PI からの HSC 性能予想)

委員長: S-Cam でやっていたサイエンスを HSC が全部カバーできない可能性がある。

日本がこれまで優位を保っていた分野を失う危険性がある。

C: HSC を立ち上げる段階で性能が徐々に改善され、S-Cam ユーザーが自然に HSC に移行していくと予想されるので、S-Cam を何年残すという議論は今しなくてもいいのではないかな?

友野: 技術的にはあとどのくらいその装置を保守する必要があるかは重要であり、ユーザーが使わなくなるまで、というのは避けていただきたい。

C: HSC が試験観測に入ったらずぐ S-Cam をデコミッションするのがよい。HSC に集中してサイエンス成果を挙げたほうがよい。

C: 両方の装置を運用する経費をかける代わりに、HSC のフィルターをそろえたほうがよい。

C: ユーザーの意見も聞く必要がある。

この件については観測所内で検討を続けることとする。

3 UM プログラム案の検討 (高見)

3.1 SAC 報告について

委員長： 先日の光赤外専門委員会への提言を元に、UM での SAC 報告の原案を作ったので、改訂意見をお願いしたい。

C： 来年の京都会議の宣伝を入れてほしい。

C： 提言をまとめたことは意味があるが、さらに具体化していくことが必要だ。

3.2 WFMOS セッションについて

まず WFMOS の基本スペックを Gemini 側から説明してもらおう。その際ファイバー数は 2000~4000 の実現可能な範囲に想定してもらおうよう事前に伝えておく。ユーザーの議論に入る前に SAC が WFMOS を重要な装置だと認識していることを表明する。交渉の報告は日本側と Gemini 側の双方が行い、ユーザー議論の最後を台長コメントでしめくくる。

C： 11月に各大学を訪問した Chris Packham 氏にも参加してほしい。Gemini 内部の人だけでなく、Gemini ユーザーの意見も聞きたいからだ。

UM 世話人から Packham 氏に UM 参加を依頼する。

3.3 国際セッションについて

- ・ソウル大学の Myunshin Im 氏から共同研究の提案がある。
- ・以前から共同研究の申し出がある中国も招きたい。

中国側の代表者である Gang Zhao 氏に世話人から UM 参加を依頼する。

3.4 その他

- ・プリンストン大学との MOU 締結セレモニーは NAOJ の総務課が企画する。プリンストンからは 10 名ほど UM に参加する予定。
- ・SMOKA は初めての人に関りやすい部分なので欠かさず口頭発表してもらったほうがよい。
- ・HSC のフィルター方針について今から議論しておきたいという提案が装置チームからあった。
- ・S-Cam の CCD がリプレイスされてユーザーが混乱しているので、説明があるとよい。

4 VLT との時間交換の可能性について

委員長: VLT とすばるとの時間交換の可能性について打診してみたが ESO の新所長 Tim de Zeeuw 氏は前向きなようだ。10月に実施したアンケートの結果を検討したい。

VLT アンケート結果：

回答総数 25 件

VLT との時間交換 ぜひやってほしい 18 件、やってもよい 1 件、反対 3 件

所長：コメントを読むと南天へのアクセスを希望する人が多いが、Gemini との時間交換で Gemini-South が利用できることをもっと宣伝してほしい。

C：VLT はキュー観測だが、キュー観測とクラシカル観測の交換は難しい。また、夜数が増えるほど難しくなる。

C：最初 5 夜程度の交換を打診した際は消極的な反応だった。今回は「数セメスタで 50 夜」を打診しているので前向きになるのは当然だろう。だが最初は 5 夜ぐらいから始めるのが現実的だ。

C：慎重意見のコメントにもなるほどと思うものがある。

C：時間交換を行っても、交換枠以外の日本人の応募が妨げられないのならよい。

C：現在 Gemini に対しては時間交換枠と一般枠の両方に応募することを断っている。

所長：話を進める場合は台長の許可が必要だ。

C：時間交換は元々 VLT に対抗するためにマウナケアの望遠鏡が共同で取り組もうという趣旨だった。VLT と時間交換する場合は Gemini や Keck に断る必要があるのではないか？

C：FMOS や HSC が始まる時に手を広げすぎではないか？検討を始めるのはいいが。

C：2010 年-2011 年はダウンタイムがあって難しいだろう。

5 中国との共同研究の可能性について

所長：中国はすばるの望遠鏡時間を買いたい意向で何度かメールが来たが、すばるは観測時間を売らないと伝えてある。

委員長：中国との共同研究には慎重意見の人もいる。

1 月の UM に参加してもらい、まず互いを知ることから始めることにする。

6 WFMOS 交渉報告及び問題点の検討（山下）

- ・ 「at least 300 nights」という文言について

At least を削除しないと無制限になるのが困るという意見、at least はよいが 300 夜という数字が要検討だとする意見、at least 300 nights を共同サーベイに使うという全文を削除すべきという意見等さまざま出たが、5 月までに何らかの数字を入れて契約書を交わすことになる。

- ・ Gemini との時間交換について

WFMOS が実現した場合、WFMOS サーベイ時間の半分に当たる Gemini 時間が補償とし

て供与されるので、1セメスタ（半年）当り 15 夜、Gemini を使うことになる。そのほかに個別プログラムの時間交換がある。

・コスト負担のアンバランスについて

すばるの WFMOS に使える部分は Gemini 側が思っているほど安価ではないので、何か計算式を使って等分の貢献になることを関係者に示す必要がある。公式には「等分の貢献で製作する」と明記するだけでよいが。

7 報告事項

- ・ HSC WS については予定通り準備を進めている。
- ・ 京都会議については招待講演者の確定がやや遅れている。

===資料===

- 1 HSC と S-Cam の性能比較
- 2 UM での SAC 報告案
- 3 UM プログラム案
- 4 VLT アンケート結果及び関係者からのメール
- 5 WFMOS 交渉報告